



## 共通デバイス設定

---

共通デバイス設定は、ユーザ固有のサービスと機能の属性で構成されます。各デバイスが、ユーザ向けの共通デバイス設定情報に関連付けられていることを確認してください。



(注)

---

[デバイスプール設定 (Device Pool Configuration)] ウィンドウには、ロケーション関連情報だけが表示されるようになりました。すべてのユーザ向け情報は、[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ウィンドウで記録されます。

---

共通デバイス設定を設定するには、次のトピックを参照してください。

- [共通デバイス設定の検索 \(P.93-2\)](#)
- [共通デバイス設定の設定 \(P.93-3\)](#)
- [関連項目 \(P.93-7\)](#)
- [共通デバイス設定の削除 \(P.93-6\)](#)

## 共通デバイス設定の検索

ネットワーク内にはいくつかの共通デバイス設定が存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager では、固有の条件を指定して、特定の共通デバイス設定を見つけることができます。共通デバイス設定を見つける手順は、次のとおりです。



**(注)** Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、共通デバイス設定の検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、共通デバイス設定の検索設定は保持されます。

### 手順

**ステップ 1** [デバイス] > [デバイスの設定] > [共通デバイス設定] の順に選択します。

[共通デバイス設定の検索と一覧表示 (Find and List Common Device Configurations)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

**ステップ 2** データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、[ステップ 3](#) に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- ドロップダウンリスト ボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



**(注)** 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リスト ボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



**(注)** 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.93-6 の「共通デバイス設定の削除」を参照してください。

## 共通デバイス設定の設定

デバイスの共通デバイス設定を追加する手順は、次のとおりです。

#### 手順

**ステップ 1** [デバイス] > [デバイスの設定] > [共通デバイス設定] の順に選択します。

[共通デバイス設定の検索と一覧表示 (Find and List Common Device Configurations)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 次のいずれかの作業を行います。

- 新しい共通デバイス設定を追加する場合は、[新規追加] ボタンをクリックし、[ステップ 3](#) に進みます。
- 既存の共通デバイス設定を更新する場合は、適切な共通デバイス設定を見つけ ([P.93-2](#) の「[共通デバイス設定の検索](#)」を参照)、[ステップ 3](#) に進みます。

**ステップ 3** 適切な設定値を入力します ([表 93-1](#) を参照)。

**ステップ 4** [保存] をクリックします。

#### 追加情報

P.93-6 の「共通デバイス設定の削除」を参照してください。

## 共通デバイス設定の設定値

表 93-1 では、共通デバイス設定の設定値について説明します。関連する手順については、P.93-6 の「共通デバイス設定の削除」を参照してください。

表 93-1 共通デバイスの設定値

フィールド	説明
[共通デバイス設定情報 (Common Device Configuration Information)]	
[名前]	共通デバイス設定を識別するための名前を入力します。
[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]	ドロップダウンリスト ボックスから、共通デバイス設定のソフトキー テンプレートを選択します。
[ユーザ保留 MOH 音源 (User Hold MOH Audio Source)]	ユーザが保留操作を開始したときに MOH として使用するオーディオ ソースを選択します。
[ネットワーク保留 MOH 音源 (Network Hold MOH Audio Source)]	ネットワークが保留操作を開始するときに、music on hold (MOH; 保留音) に使用するオーディオ ソースを選択します。
[ユーザロケール (User Locale)]	ドロップダウン リスト ボックスから、共通デバイス設定のロケールを選択します。そのユーザ ロケールは、言語とフォントを含んだ、ユーザをサポートする一連の詳細情報を識別します。
	 <p><b>(注)</b> ユーザがユーザ ロケールを選択しない場合は、Cisco Unified Communications Manager clusterwide パラメータでデフォルト ユーザ ロケールとして指定されたロケールが適用されます。</p>

表 93-1 共通デバイスの設定値 (続き)

フィールド	説明
<b>[MLPP 情報 (Multilevel Precedence and Preemption Information)]</b>	
[MLPP 表示 (MLPP Indication)]	<p>この設定値は、デバイスが MLPP 優先コールを発信する場合、優先トーンを再生できるデバイスで MLPP の機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスにある次のオプションの中から、デバイスに割り当てる設定を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [デフォルト]: このデバイスは、MLPP Indication Status エンタープライズ パラメータから [MLPP 表示 (MLPP Indication)] 設定値を取得します。</li> <li>• [オフ]: このデバイスは、MLPP 優先コールの表示の制御も処理もしません。</li> <li>• [オン]: このデバイスは、MLPP 優先コールの表示を制御し処理します。</li> </ul> <p> <b>(注)</b> [MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [オフ] または [デフォルト] (デフォルトが [オフ] の場合) に設定し、かつ [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] を [強制] に設定するという組み合わせで設定することはできません。</p> <p> <b>(注)</b> エンタープライズ パラメータまたはデバイス レベルで [MLPP 表示 (MLPP Indication)] をオンにすると、[MLPP 表示 (MLPP Indication)] をデバイスに対してオフ (上書き) にしない限り、デバイスで回線に対する通常の [呼出音設定 (Ring Setting)] が動作しません。</p>
[MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)]	<p>この設定値は、デバイスが MLPP 優先コールを発信する場合、進行中のコールに割り込みできるデバイスで MLPP の機能を使用するかどうかを指定します。</p> <p>ドロップダウン リスト ボックスにある次のオプションの中から、デバイスに割り当てる設定を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [デフォルト]: このデバイスは、MLPP Preemption Setting エンタープライズ パラメータから [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] 設定値を取得します。</li> <li>• [無効]: このデバイスは、優先順位の高いコールの完了に必要な場合、優先順位の低いコールを優先するようにしません。</li> <li>• [強制]: このデバイスは、優先順位の高いコールの完了に必要な場合、優先順位の低いコールを優先するようにします。</li> </ul> <p> <b>(注)</b> [MLPP 表示 (MLPP Indication)] を [オフ] または [デフォルト] (デフォルトが [オフ] の場合) に設定し、かつ [MLPP プリエンプション (MLPP Preemption)] を [強制] に設定するという組み合わせで設定することはできません。</p>

表 93-1 共通デバイスの設定値 (続き)

フィールド	説明
[MLPP ドメイン (MLPP Domain)]	ドロップダウンリスト ボックスから、この共通デバイス設定に関連付けられている MLPP ドメインを選択します。このフィールドを [ < なし > ] のままにした場合、このデバイスは MLPP Domain Identifier エンタープライズ パラメータの値セットから、MLPP ドメインを取得します。

## 共通デバイス設定の削除

共通デバイス設定を削除する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

デバイスが使用している共通デバイス設定は削除できません。共通デバイス設定を使用しているデバイスを検索するには、[共通デバイス設定 (Common Device Configuration)] ウィンドウの [依存関係レコード] リンクをクリックします。依存関係レコードがシステムで使用可能になっていない場合、[依存関係レコード要約 (Dependency Records Summary)] ウィンドウにメッセージが表示されます。依存関係レコードの詳細については、[P.A-4 の「依存関係レコードへのアクセス」](#)を参照してください。使用中の共通デバイス設定を削除しようとする、Cisco Unified Communications Manager からメッセージが表示されます。現在使用中の共通デバイス設定を削除する場合は、事前に、次のどちらかまたは両方の作業を実行しておく必要があります。

- 削除する共通デバイス設定を使用しているデバイスすべてに、別の共通デバイス設定を割り当てる。
- 削除する共通デバイス設定を使用しているデバイスを削除する。

### 手順

- 
- ステップ 1** [P.93-2 の「共通デバイス設定の検索」](#) の手順に従って、削除する共通デバイス設定を見つけます。
- ステップ 2** 削除する共通デバイス設定の横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ上の共通デバイス設定をすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除] をクリックします。
- ステップ 4** [OK] をクリックして、選択内容を確認します。
- 

### 追加情報

[P.93-6 の「共通デバイス設定の削除」](#) を参照してください。

## 関連項目

- [共通デバイス設定の検索 \(P.93-2\)](#)
- [共通デバイス設定の設定 \(P.93-3\)](#)
- [関連項目 \(P.93-7\)](#)
- [共通デバイス設定の削除 \(P.93-6\)](#)

■ 関連項目